

2011年5月26日

各位

株式会社エイジア

エイジア、メール配信システム「WEB CAS e-mail」の 迷惑メール対策技術「DKIM」対応を開始 —世界標準の認証技術への対応で、グローバルなメール受発信環境を推進—

メールを活用したインターネットマーケティングソリューションを提案する株式会社エイジア（本社：東京都品川区、代表取締役：美濃 和男 東証マザーズ上場：証券コード 2352 以下 当社）は、このたび、メール配信システム「WEB CAS e-mail」(<http://webcas.azia.jp/email/>) のクラウドサービスの迷惑メール対策のドメイン認証技術「DKIM（ディーキム）」対応を本日より開始いたしました。

記

1. 送信ドメイン認証技術「DKIM」への対応について

当社は本日より、当社主力製品となるメール配信システム「WEB CAS e-mail」のクラウド版の送信ドメイン認証技術「DKIM」対応を開始いたしました。

●DKIMについて

電子メールは今や重要なコミュニケーション手段として普及しています。一方電子メールは、メール送信元・本文等を詐称した、いわゆる「なりすましメール」によるワンクリック詐欺、フィッシング詐欺などの犯罪に利用されやすい面もあり、これらの迷惑メールは社会問題になっているのが現状です。「DKIM」は、このような迷惑メール問題への対策として開発された技術です。メール送信元がメールに電子署名を付与することで「送信元ドメインを詐称していない」ことを証明する世界標準の認証技術で、海外で広く普及しています。

しかしながら「DKIM」は、日本国内においては普及率および認知度は低いのが現状です。そこで日本における「DKIM」の普及促進を目的として、送信事業者やISP、メールセキュリティベンダ等が集まり「Japan DKIM Working Group (dkim.jp)」が設立されました。当社は企業のメールマーケティングを支援する事業者としてこの取組みに賛同し、dkim.jpのメンバーとして活動するとともに、今回の「DKIM」対応を実現いたしました。

●海外向けメール配信の到達率向上を企図

また当社は既に、グローバル展開されている企業様に安全かつ効果の高いメール配信環境をご提供すべく、2010年12月よりメール配信言語の多言語化（中国語（簡体字・繁体字）、英語、スペイン語、日本語）はもちろん、配信システム管理画面の多言語化にも対応し、グローバルに展開する企業様はもちろん、海外現地スタッフによるオペレーションをも支援しております。今回の世界標準の認証技術「DKIM」への対応により、メール到達能力を向上させることができるものと考えております。

当社は今回の「DKIM」対応により、世界で活動する企業様のメールコミュニケーション活動をさらに

推進するとともに、日本における安全なメールコミュニケーションの実現に貢献いたします。

3. 日程

2011年5月26日 「WEB CAS」メール配信クラウドサービスにおいて「DKIM」対応を開始

4. 当事会社の概要

■株式会社エイジアの概要

主な事業内容 CRM アプリケーションソフト「WEB CAS」シリーズ (<http://webcas.azia.jp/email/>) の開発・販売、ウェブサイトおよび企業業務システムの受託開発、ウェブコンテンツの企画・制作

本店所在地 東京都品川区西五反田 7-21-1 第5TOCビル9階

代表者 代表取締役 美濃 和男

設立年月日 1995年4月

資本の額 322百万円（2011年3月31日現在）

上場証券取引所 東証マザーズ 証券コード：2352

URL <http://www.azia.jp/>

●本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社エイジア

経営企画室 広報 玉田 優子

TEL : 03-6672-6788 (代表) FAX : 03-6672-6805 E-mail : azia_ir@azia.jp

以上